

# 人生は不公平で良いのだ☺最善を尽くせば良い by ホーキング博士

10月31日(月)、田港佳奈先生が道徳の授業を公開しました(1年3組)。本時は『公平とは何か?』と題し、生徒が公平性を保つための判断基準をもつ大切さを理解し、差別や偏見のない社会を築こうとする判断力を養うことが目的です(価値項目C 公正、公平、社会主義)



図1 あなたが思う公平って何だろう?

## 「不公平」だと感じることは…?

- ・女子更衣室があるのに、男子更衣室がない。
- ・女子には優しいけれど、男子にやたら厳しい。
- ・「長女だから妹達の事までやいなさい」は違うと思う。
- ・母さんはスマホを見ているのに、子どもは制限がある。
- ・不真面目な人が頑張ったら褒められるのに、いつも真面目な人が結果を出してもあまり褒められない。
- ・ヤクルトには村上がいて、阪神には決定的な主砲がない。

佳奈先生イイね!と感じたのは、生徒が普段の生活で感じている不公平感について事前アンケートをとり、共有することで、『公平とは何か?』という問いを、**生徒自身が「自分事」として捉えられるような導入場面**が設定されていました(図1)。また、ジャムボードを使って話し合い活動を展開することで、**オンタイムで生徒の多様なアイデアが見える化**できる工夫もなされていました(図2・図3)



図2 公平・不公平の判断基準って何?

## 「考え、議論する道徳」において、

「自分事」として捉え、**多面的・多角的**に考えることを大切に、深い学びとなる授業を目指しましょう

### 「問題解決的な学習」

問題解決的な学習を通して、道徳的な問題を多面的・多角的に考え、児童生徒一人一人が生きる上で出会う様々な問題や課題を主体的に解決するために必要な資質・能力を養う。

### 本時の中心発問

公平・不公平を判断するとき、考えなければならないことは何だろうか?

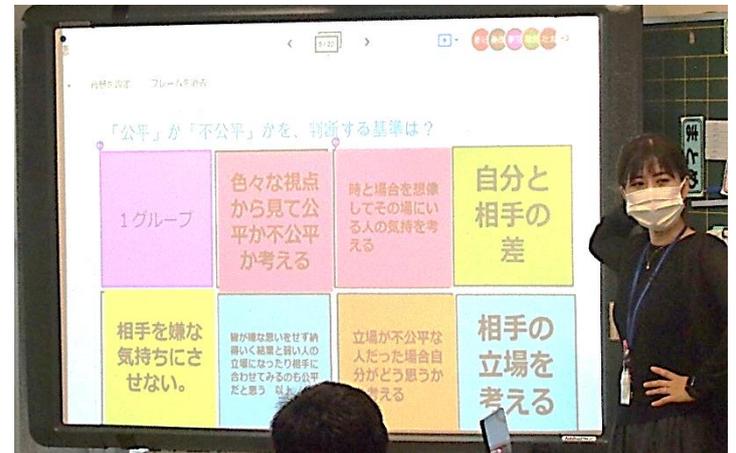


図3 ジャムボードで各班の考えを共有する。

本時の道徳科における指導方法は、「**問題解決的な学習**」です。生徒は中心発問に対して「相手の立場を考える」、「別の見方をして客観的に考える」など、公平・不公平の判断基準について、良く考えて記述する姿がありました(図4)。

**多面的・多角的な見方や考え方を働かせる工夫**として、「あなたに障害があったら?」、「あなたが年上だったら許せる?」など、『**立場を逆転させる揺さぶりのある発問**』を工夫することで、道徳科における「深い学び」につながるのか、検討していきたいです。

佳奈先生、ステキな道徳の授業ありがとうございました。

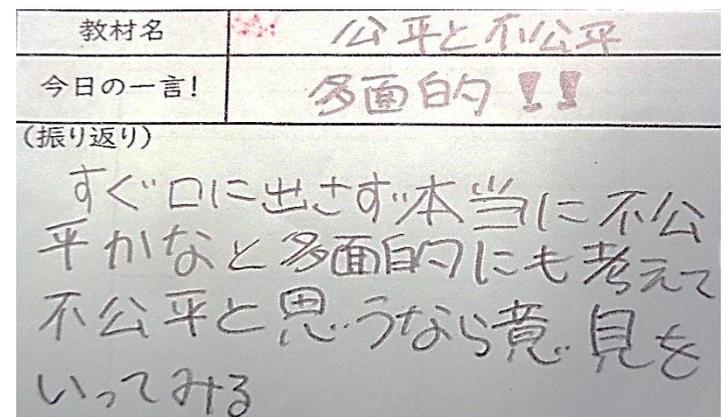


図4 Kさんの振り返り【多面的に考えている姿】